

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 兼松株式会社

コード番号 8020 URL <http://www.kanematsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下嶋 政幸

問合せ先責任者 (役職名) 主計部長

(氏名) 大塚 岳史

TEL 03-5440-8111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	540,286	1.1	8,482	△23.5	9,219	△12.7	4,438	△27.1
27年3月期第2四半期	534,355	△0.6	11,085	5.5	10,562	△3.6	6,090	△3.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 6,268百万円 (△28.9%) 27年3月期第2四半期 8,810百万円 (△21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.55	—
27年3月期第2四半期	14.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	447,915	123,779	21.1
27年3月期	459,011	118,731	19.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 94,406百万円 27年3月期 90,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	1.50	4.00
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,200,000	7.4	24,000	8.5	23,000	0.5	12,500	9.0	29.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	422,501,010 株	27年3月期	422,501,010 株
28年3月期2Q	1,702,618 株	27年3月期	1,663,126 株
28年3月期2Q	420,819,443 株	27年3月期2Q	420,159,707 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることにご留意ください。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～9月30日)の世界経済は、米国においては景気が順調に回復している一方、中国経済の減速懸念や、アジア新興国の景気回復ペース鈍化に加えて、欧州における債務問題など、先行き不透明な状況が続いています。

わが国経済は、個人消費の回復や順調な企業業績により、景気は緩やかな回復基調にあります。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

連結売上高は、前年同期比59億31百万円(1.1%)増加の5,402億86百万円となりました。売上総利益は、前年同期比5億56百万円(1.3%)増加の445億51百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比26億3百万円(23.5%)減少の84億82百万円となりました。営業外収支は、為替差益の増加や利息収支の改善等により、前年同期比12億60百万円良化しました。その結果、経常利益は前年同期比13億43百万円(12.7%)減少の92億19百万円となりました。また、税金等調整前四半期純利益は、特別損失の増加により、前年同期比27億15百万円(26.0%)減少の77億36百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比16億52百万円(27.1%)減少の44億38百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

## ① 電子・デバイス

電子機器・電子材料および半導体部品・製造装置事業は、北米・アジア向けイメージング機器、アミューズメント製品ならびにスマートフォン用部品取引が堅調でした。ICTソリューション事業は、製造業向け取引が好調に推移し、モバイル事業は新製品の発売もあり順調に推移しました。

その結果、電子・デバイスセグメントの売上高は前年同期比80億78百万円増加の1,345億39百万円、営業利益は3億35百万円増加の43億96百万円となりました。

## ② 食料

食品事業は、農産品取引を中心に、堅調に推移しました。一方、畜産事業および食糧事業は、円安による輸入仕入価格の上昇が営業利益を押し下げることとなり、苦戦しました。

その結果、食料セグメントの売上高は前年同期比122億24百万円増加の1,636億30百万円、営業利益は27億76百万円減少し3億78百万円の損失となりました。

## ③ 鉄鋼・素材・プラント

エネルギー事業は、堅調な国内需要により順調に推移しました。機能性化学品事業は、消費税増税後の落込みから回復しました。プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引において堅調に推移しました。一方、鉄鋼事業は、原油価格の低迷により主力の油井管事業が苦戦しました。

その結果、鉄鋼・素材・プラントセグメントの売上高は前年同期比254億89百万円減少の1,986億80百万円、営業利益は8億98百万円減少の21億88百万円となりました。

## ④ 車両・航空

車両・車載部品事業は、四輪車用部品取引を中心に概ね順調に推移しました。航空・宇宙事業は、航空機部品取引が好調に推移したほか、宇宙関連取引も堅調でした。

その結果、車両・航空セグメントの売上高は前年同期比60億34百万円増加の370億28百万円、営業利益は9億20百万円増加の23億13百万円となりました。

## ⑤ その他

売上高は前年同期比50億82百万円増加の64億6百万円、営業利益は1億41百万円減少し21百万円の損失となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比110億96百万円減少の4,479億15百万円となりました。

有利子負債については、前連結会計年度末比29億22百万円減少の1,331億93百万円となりました。そこから現金及び預金を差し引いたネット有利子負債は、前連結会計年度末比11億8百万円増加の687億54百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の積上げやその他有価証券評価差額金の良化等により、前連結会計年度末比50億48百万円増加の1,237億79百万円となり、純資産から非支配株主持分を除いた自己資本は、前連結会計年度末比43億5百万円増加の944億6百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.5ポイント改善の21.1%、ネット有利子負債資本倍率（ネットDER）は0.7倍となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物」は、前連結会計年度末比36億3百万円減少の633億59百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、営業利益の積上げ等により、38億39百万円の収入（前年同期は61億96百万円の収入）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券や有形固定資産の取得等により、33億10百万円の支出（前年同期は25億20百万円の支出）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により、45億21百万円の支出（前年同期は106億89百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の連結業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用の計算について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が61百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,468	64,438
受取手形及び売掛金	180,319	164,265
リース投資資産	227	124
有価証券	3	1
たな卸資産	87,254	101,625
短期貸付金	297	321
繰延税金資産	3,250	3,762
その他	27,148	19,656
貸倒引当金	△158	△107
流動資産合計	366,811	354,088
固定資産		
有形固定資産	28,931	27,593
無形固定資産		
のれん	6,063	5,754
その他	8,661	8,472
無形固定資産合計	14,725	14,226
投資その他の資産		
投資有価証券	38,372	40,591
長期貸付金	2,134	2,082
固定化営業債権	765	694
退職給付に係る資産	199	231
繰延税金資産	3,643	3,190
その他	6,098	7,785
貸倒引当金	△2,671	△2,569
投資その他の資産合計	48,543	52,006
固定資産合計	92,200	93,826
資産合計	459,011	447,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,097	137,432
短期借入金	61,688	52,632
リース債務	638	562
未払法人税等	2,492	1,944
繰延税金負債	1	-
資産除去債務	107	6
その他	38,322	37,767
流動負債合計	252,347	230,345
固定負債		
長期借入金	74,426	80,560
リース債務	1,286	1,131
繰延税金負債	488	482
退職給付に係る負債	5,137	5,009
役員退職慰労引当金	367	338
資産除去債務	810	882
その他	5,414	5,386
固定負債合計	87,931	93,790
負債合計	340,279	324,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,781	27,781
資本剰余金	27,502	27,441
利益剰余金	44,845	48,652
自己株式	△222	△230
株主資本合計	99,906	103,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,020	4,189
繰延ヘッジ損益	559	△40
土地再評価差額金	104	109
為替換算調整勘定	△14,687	△13,699
退職給付に係る調整累計額	198	203
その他の包括利益累計額合計	△9,805	△9,237
非支配株主持分	28,630	29,372
純資産合計	118,731	123,779
負債純資産合計	459,011	447,915



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	534,355	540,286
売上原価	490,360	495,735
売上総利益	43,995	44,551
販売費及び一般管理費	32,910	36,069
営業利益	11,085	8,482
営業外収益		
受取利息	191	251
受取配当金	639	536
持分法による投資利益	330	398
為替差益	37	931
その他	544	741
営業外収益合計	1,743	2,859
営業外費用		
支払利息	1,569	1,244
その他	697	876
営業外費用合計	2,266	2,121
経常利益	10,562	9,219
特別利益		
有形固定資産売却益	4	6
投資有価証券売却益	0	14
特別利益合計	5	20
特別損失		
固定資産処分損	25	55
減損損失	4	205
投資有価証券売却損	62	1,181
投資有価証券評価損	23	13
関係会社貸倒引当金繰入額	-	48
特別損失合計	116	1,503
税金等調整前四半期純利益	10,451	7,736
法人税、住民税及び事業税	2,156	2,018
法人税等調整額	1,004	119
法人税等合計	3,161	2,138
四半期純利益	7,289	5,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,198	1,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,090	4,438

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	7,289	5,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	679	165
繰延ヘッジ損益	267	△581
為替換算調整勘定	515	82
退職給付に係る調整額	49	25
持分法適用会社に対する持分相当額	8	976
その他の包括利益合計	1,520	669
四半期包括利益	8,810	6,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,880	5,005
非支配株主に係る四半期包括利益	929	1,262

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,451	7,736
減価償却費	1,501	1,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△48
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△329	△109
受取利息及び受取配当金	△831	△787
支払利息	1,569	1,244
持分法による投資損益(△は益)	△330	△398
固定資産処分損益(△は益)	21	49
減損損失	4	205
投資有価証券売却損益(△は益)	61	1,166
投資有価証券評価損益(△は益)	23	13
売上債権の増減額(△は増加)	15,196	16,462
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,090	△14,243
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,499	△6,872
その他	△1,895	745
小計	9,831	6,810
利息及び配当金の受取額	850	1,116
利息の支払額	△1,564	△1,257
事業構造改善費用の支払額	△530	—
法人税等の支払額	△2,390	△2,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,196	3,839
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△724	11
有形固定資産の取得による支出	△1,447	△1,171
有形固定資産の売却による収入	429	166
無形固定資産の取得による支出	△242	△194
投資有価証券の取得による支出	△459	△2,793
投資有価証券の売却による収入	34	68
事業譲受による支出	△40	—
貸付けによる支出	△65	△462
貸付金の回収による収入	116	489
その他	△121	574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,520	△3,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△461	△3,783
長期借入れによる収入	11,835	12,923
長期借入金の返済による支出	△20,765	△12,146
配当金の支払額	△626	△629
その他	△670	△885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,689	△4,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	428	△151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,585	△4,143
現金及び現金同等物の期首残高	73,548	67,377
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	125
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,963	63,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	電子・ デバイス (百万円)	食料 (百万円)	鉄鋼・素材 ・プラント (百万円)	車両・航空 (百万円)	計 (百万円)				
売上高									
外部顧客に対する売上高	126,461	151,406	224,169	30,994	533,031	1,324	534,355	—	534,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	200	83	4	0	289	29	319	△319	—
計	126,662	151,490	224,173	30,994	533,321	1,353	534,675	△319	534,355
セグメント利益	4,061	2,398	3,086	1,393	10,941	120	11,061	23	11,085

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額23百万円には、のれんの純額処理額38百万円、セグメント間取引消去△14百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	電子・ デバイス (百万円)	食料 (百万円)	鉄鋼・素材 ・プラント (百万円)	車両・航空 (百万円)	計 (百万円)				
売上高									
外部顧客に対する売上高	134,539	163,630	198,680	37,028	533,880	6,406	540,286	—	540,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	191	2	240	1	436	39	476	△476	—
計	134,731	163,633	198,921	37,030	534,316	6,445	540,762	△476	540,286
セグメント利益又は損失(△)	4,396	△378	2,188	2,313	8,519	△21	8,497	△15	8,482

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△15百万円には、主にセグメント間取引消去△15百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2016年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

### ■売上・売上総利益は増加なるも、当期純利益は減益

◇売上高	5,403 億円	1.1% 増収
◇営業利益	85 億円	△23.5% 減益
◇経常利益	92 億円	△12.7% 減益
◇当社株主帰属当期純利益	44 億円	△27.1% 減益

### 損益の状況

(単位:億円)	2015/3期 第2四半期	2016/3期 第2四半期	前期比		2016/3期 通期	
			増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	5,344	5,403	59	1.1%	12,000	45.0%
売上総利益	440	446	6	1.3%	950	46.9%
販売費・一般管理費	329	361	32	9.6%	-	-
営業利益	111	85	△26	△23.5%	240	35.3%
受取配当金	6	5	△1	-	-	-
利息収支	△14	△10	4	-	-	-
持分法損益	3	4	1	-	-	-
為替差損益	0	9	9	-	-	-
その他	△2	△1	0	-	-	-
営業外収支	△5	7	13	-	-	-
経常利益	106	92	△13	△12.7%	230	40.1%
特別損益	△1	△15	△14	-	-	-
税金等調整前当期純利益	105	77	△27	△26.0%	-	-
法人税等及び 非支配株主帰属利益	44	33	△11	-	-	-
当社株主に帰属する 当期純利益	61	44	△17	△27.1%	125	35.5%

【売上高】  
食料セグメント、電子・デバイスセグメントおよび車両・航空セグメントの増収が寄与し、59億円の増収。

【営業利益】  
食料セグメント、鉄鋼・素材・プラントセグメントが苦戦したため、26億円の減益。

【経常利益】  
為替差損益や利息収支が良化したものの、営業利益の減益に伴い、13億円の減益。

【特別損益】  
過去撤退済みの繊維事業において、有価証券譲渡による特別損失を計上。

【当社株主に帰属する当期純利益】  
特別損失の計上15億円に伴い、17億円の減益。

1株当たり当期純利益 (円)	14.50	10.55	△3.95	△27.2%	29.75	35.5%
----------------	-------	-------	-------	--------	-------	-------

### セグメント情報

(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2015/3期 第2四半期	2016/3期 第2四半期	前期比 増減	2015/3期 第2四半期	2016/3期 第2四半期	前期比 増減
電子・デバイス	1,265	1,345	81	41	44	3
食料	1,514	1,636	122	24	△4	△28
鉄鋼・素材・プラント	2,242	1,987	△255	31	22	△9
車両・航空	310	370	60	14	23	9
報告セグメント合計	5,330	5,339	8	109	85	△24
その他(含む調整額)	13	64	51	1	△0	△2
総合計	5,344	5,403	59	111	85	△26

【電子・デバイス】 増収増益  
電子機器・電子材料事業および半導体事業は、北米およびアジア向けイメージング機器、アミューズメント製品ならびに、スマートフォン用部品取引が好調。  
ICTソリューション事業は、製造業向け取引が順調に推移したほか、モバイル事業も好調。

【食料】 増収減益  
食糧事業は、穀物、農産油脂取引の販売は堅調も、飼料取引が苦戦。畜産事業は、前期比低調。  
収益の一部が為替差益として計上されたこともあり、営業赤字。

【鉄鋼・素材・プラント】 減収減益  
プラント事業は、工作機械・産業機械取引は堅調も、プラントインフラ取引において前期に大型案件があったことにより減益。  
原油価格の低迷により油井管事業が低調。

【車両・航空】 増収増益  
航空・宇宙事業は、航空機部品取引が好調。車両・車載部品事業は、四輪車用部品取引を中心に堅調に推移。

### 資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2015/3末	2015/9末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	4,590	4,479	△111	△2.4%
グロス有利子負債	1,361	1,332	△29	△2.1%
ネット有利子負債	676	688	11	1.6%
株主資本	999	1,036	37	3.7%
その他の包括利益累計額	△98	△92	6	-
非支配株主持分	286	294	7	2.6%
純資産合計	1,187	1,238	50	4.3%
自己資本 (注1)	901	944	43	4.8%
1株当たり純資産 (円)	214.1	224.7	10.6	5.0%
自己資本比率 (注2)	19.6%	21.1%	1.5pt改善	-
ネットDER (注3)	0.8倍	0.7倍	△0.1pt	-

【有利子負債】  
グロス有利子負債は29億円減少。  
ネット有利子負債は営業資産、投資資金の増加で11億円の増加。

【純資産】  
当期純利益による利益剰余金の積上げや為替調整勘定の良化等により、50億円増加。  
純資産から少数株主持分を除いた自己資本は43億円増加。

上記の結果、自己資本比率は21.1%に改善。  
ネットDERは0.7倍。

(注1)自己資本=純資産-非支配株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

### キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)	2015/3期 第2四半期	2016/3期 第2四半期
営業活動によるCF	62	38
投資活動によるCF	△25	△33
フリーキャッシュフロー	37	5
財務活動によるCF	△107	△45
換算差額	4	△2
現金・現金同等物の増減	△66	△41

【営業活動によるCF】  
営業利益の積上げ等により38億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】  
投資有価証券の取得等により33億円のキャッシュ・アウト。

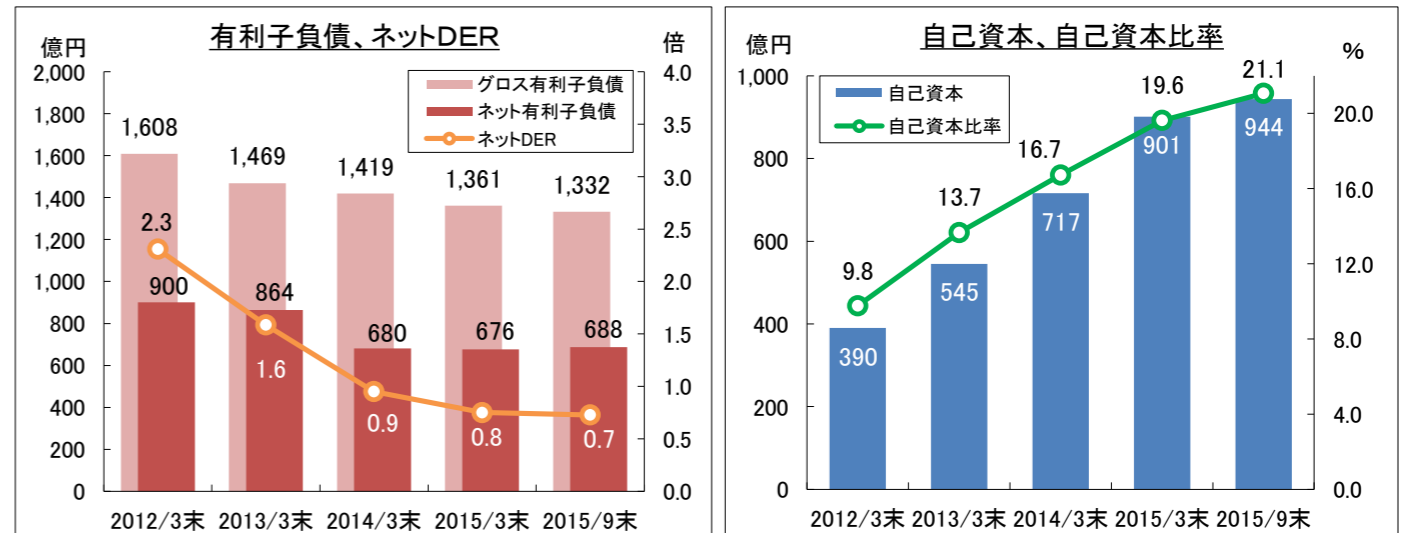
【財務活動によるCF】  
短期借入金の減少等により45億円のキャッシュ・アウト。

### 配当の状況

【2015/3期】	
中間配当 ※	1株当たり 2.5 円
期末配当	1株当たり 1.5 円
年間配当	1株当たり 4.0 円
※ 中間配当の内訳：普通配当 1.5 円 記念配当 1.0 円	

【2016/3期】	
中間配当	1株当たり 2.5 円
期末配当(予想)	1株当たり 2.5 円
年間配当(予想)	1株当たり 5.0 円

	2014/3期	2015/3期	2016/3期
連結配当性向	10.7%	14.7%	16.8%



\* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
\* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。